

# せとうちちょう 議会だより

第152号  
平成26年2月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

## 大島本島南部議会議員大会



宇検村生涯学習センター「元気の出る館」で開催



会長あいさつを行う安議長



本町議題の提案理由説明を行う鎌田文教厚生委員長



宣言（案）を朗読する岡田副議長

第32回大島本島南部議会議員大会（宇検村、大和村、瀬戸内町3町村で構成）が、2月6日（木）宇検村生涯学習センター「元気の出る館」で開催されました。

本町からは、「世界自然遺産拠点施設の整備について」（鎌田愛人議員が提案理由説明）を提出し、採択されました。（10ページに関連記事掲載）

# こんなことを決めました

## 第4回定例会 12月13日~18日

第4回定例会では、補正予算議案8件、条例議案2件、人事同意議案2件、訴訟和解議案1件、その他3件の計16件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

主な議案の要旨は次のとおりです。

### 一般会計補正予算 (第3号)

古仁屋小学校前の周辺道路をゾーン30(注①参照)に設定

主な内容は、古仁屋小学校前の周辺区域(古仁屋小学校くじヨイフル前の道路及び周辺の路地が区域対象)をゾーン30に設定するもので、それに伴う道路標識、路面標示等に180万円、障がい者自立支援費扶助として2300万円、サトウキビ圧搾用投入口コンベアー購入費として340万円(加計呂麻島の4製糖工場に設置)、文化センター(仮称)建設に伴うプロポーザル審査会運営業務委託料270万円、農業用施設災害復旧費として1821

万5千円、道路橋梁河川災害復旧費に1547万5千円等を追加するものです。総額8449万8千円を追加しました。

※注①

「ゾーン30」とは生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。これにより、通学路の安全対策も図られます。

### 町税条例の一部改正

東日本大震災からの復興に関して、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保のために、平成26年度から平成35年度までの10年間、個人町民税の均等割に500円を加算するものです。

### 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

国が定める新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定されたことに伴い、瀬戸内町新型インフルエンザ等対策本部に關し、必要な事項を条例で定めるものとす。

### 篠川地区下里土地に關する訴訟の和解

篠川字下里の土地3筆に對するもので、町が相手方に和解金24万円、賃料として、年1万円を10年間の期間支払うことで和解したものです。

### 教育委員会委員に 上田 敏也氏

### 固定資産評価審査委員会委員に 町田 重孝氏

望月 昭男氏

久保 浩康氏

# 一般質問

第4回（12月）定例会では、6名の議員が町政全般に亘り、質問・提言等を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

## 議員 情報発信のまちづくりについて

1. フロードバンド環境について、古仁屋市街地の光回線化への進捗状況についてお聞かせ下さい。

2. 網野子バイパス開通を目前に、本町経済の活性化を最大の目的とした情報発信（ICTを活用した）を行う必要があると思いますが、具体的な施策があるのか伺います。

**町長** 1. NTT西日本と情報交換・協議を行っておりますが、光サービス提供の具体的な時期等については、まだ情報を得ておりません。

せん。

2. 町のホームページを刷新し、具体的な施策については、今後、各種団体も含めて広く検討を進めて行く必要があると考えております。

## 議員 観光振興について

世界自然遺産登録に向けた、具体的な観光振興策があればお聞かせください。

**町長** 島案内人育成講座を実施し、本町の魅力を発信するための人材育成に努めるとともに、各集落の歴史・文化等を活かしながら、地域の魅力を観光客に見学・体験してもらう仕組みづくりを進めているところです。



## 議員 地域経済の活性化について

地域通貨の導入あるいはそれに似た政策を積極的に取り入れられないか町長のお考えをお聞かせ下さい。

**町長** 本町でも地域通貨に似た政策として、出産祝金や元気高齢者ポイント事業等において商工会発行の商品券を支給しております。今後も商工会などと協議検討を行い、地域経済の活性化に努めてまいりたいと考えております。

## 議員 消防・防災について

来年、本町において開催される消防操法大会の準備等、現在の進捗状況をお尋ねします。

**町長** 操法大会の訓練場所の確保という事で、分署前

の舗装工事を発注しており、1月末に完成予定であります。

また、消防協会大島支部や、町総務課防災係、消防団等との運営打ち合わせを実施し、地元開催に向け万全を期して取り組んで参ります。

## 議員 教育・文化・人材育成について

教育・文化の町として、人材育成にどのようなお考えをお持ちなのか、加計呂麻島の学校統合に対する見解と併せてお尋ねします。

**教育長** 現時点においては加計呂麻地区の学校統合を推進するのは厳しい状況にあります。児童・生徒は勿論、保護者や地域住民の意見等を尊重し、今後検討していかねばならないと考えております。



渡島芳臣議員

**議員** **世界自然遺産登録について**

世界自然遺産登録に向けて、動植物の観察ができる施設整備及び遺産センター建設に向けた取り組みを伺います。

**町長** この事業につきましては、奄美大島の5市町村が連携して取り組んでおります。動植物観察施設や遺産センターの整備につきましては、県の長期的な施策や国の動向にも注視しながら、用地の確保など本町として準備できることを積極的に取り組んで参ります。

**議員** 加計呂麻島等の宿泊施設建設促進の対策を伺います。

**町長** 世界自然遺産登録と共に増えてくると予想される観光客に対応するため、新規参入者への貸付制度の情報提供を行っていききたいと考えております。

**議員** **観光振興について**

鹿児島県主催の奄美大島ブルーツーリズムモニターツアーが開催されましたが、本町の水産資源活用現状と今後の見通しを伺います。

**町長** 大島海峡を中心に、マダイやカンパチ、クロマグロや真珠などの養殖漁業が発展しており、現在は、各種イベント等でクロマグロの給餌体験や真珠貝の浜揚げ体験などに協力してお

ります。

漁船漁業におきましても、追い込み漁業やカツオ一本釣り、ほこ突き漁業等もありますので、本町の水産資源の魅力を更に掘り起し、観光とのタイアップを進めて参ります。

**議員** **来町者向けに各集落の伝統文化、名所、歴史等を記入した、道案内用の看板設置は進めておられるのか伺います。**

**町長** 世界自然遺産登録と共に増加が予想される観光客の利便性を図るために、平成26年度、27年度に加計呂麻島、請島、与路島の集落に案内板及び誘導案内標識の設置を計画しております。

**議員** **公共用の市街地公園等の施設管理の運営方法を**

伺います。

**町長** 8カ所を管理しており、うち3カ所はトイレ清掃を主として年間契約で清掃管理を行っています。残り5カ所は、主管課で定期的に巡回し、管理を行っております。

トイレ等不具合のあるものは、修理改善を図っております。

**議員** **高齢者支援について**

高齢者の交通事故防止策の一環として、運転免許証を自主返納した方に優遇措置を行ない、返納を後押しして支援できないか伺います。

**町長** 本町においては、海浜バスと瀬戸内タクシーにおいて自主返納者に対して、バスの半額補助、タクシーの1割補助を実施しており

ます。

平成25年度より宇検村が優遇制度をスタートしておりますので、優遇制度の導入に向けて検討いたします。

**議員** **100歳を迎える高齢者の、これまでのご苦労をねぎらうと共に支える家族への敬意を表して表彰状贈呈等支援内容を伺います。**

**町長** 現在100歳を超える高齢者に、毎年10万円の敬老祝い金を支給しております。町からの表彰状につきましては、行っておりますが、今後検討して参ります。





向野 忍議員

**議員** **世界自然遺産登録について**

1. 「自然遺産センター」の誘致促進を目的に「世界自然遺産せとつち推進室」を設置されたが、どの様なセンターの誘致を目指しているのか伺います。

2. 今後、沖縄及び屋久島と世界自然遺産登録地域としての連携が重要になって来ると思われるが町長の見解を伺います。

**町長** 1. 「インターセンター」としての機能を持った施設も念頭に入れ検討していきたいと考えています。

**議員・意見**

本町としての「自然遺産センター」の位置付け等、誘致計画をしっかりとつくるべきである。そのため予算組みも早急にすべきである。

**町長** 2. 「奄美・琉球」として世界自然遺産登録を目指す上においても沖縄との連携は必要不可欠であります。屋久島とは新しい観光ルートの開拓等、登録後に向けて連携を深めていく必要があると思います。

**議員** **産業振興について**

他地域と勝負できる本町の戦略品目を確立すべきと思う。現在の重点品目の見直しと新規品目への取り組みについて伺います。

**町長** 果樹の新規品目としてマンゴーが推進品目として

**議員** **加計呂麻島、請島、与路島の振興について**

本町にとって加計呂麻島、請島、与路島は「宝の島」である。3島の振興対策について

1. 定住促進の施策について伺います。

2. 交流人口拡大の施策について伺います。

**町長** 1. 「ふるさと帰郷フェア」、「かこしま暮らし・交流セミナー」、「J-OWN 移住交流イベント」等に参加し、田舎暮らしに興味のある移住希望者への相談等や「移住体験ツアー」、「出会い交流ツアー」等も実施し定住促進対策に取り組ん



岡田弘通議員

**議員** **世界自然遺産登録について**

登録後のまちづくりについて、早急に活性化計画書等を策定すべきと思うが、その考えについて伺います。

でいます。また、定住促進空き家改修事業を活用し、町が空き家を借り受け水洗化や内装等の改修を行い、移住者に貸し出す施策も実施しています。「にほんの里・加計呂麻留学制度」で小学校5名、中学校3名の児童生徒が家族と共に移住しています。

2. 加計呂麻島展示・体

**議員・意見**

加計呂麻島、請島、与路島の島ごとの振興施策を明確に立てるべきである。

験交流館や世界自然遺産登録を見据えたエコツーリズムや屋久島での里めぐりツアー等、地域が潤う観光・体験活動等を実施したいと考えています。

**町長** 活性化計画書の策定につきましては、増加すると予想される観光客の受け入れ体制やガイドの育成等さまざまな課題があるので、関係団体等と連携して活性化計画について検討したいと考えています。

**議員** 本町には、多くの戦跡があり、国の史跡遺産として指定登録されないか伺

います。

不利益改善事業を実施して参ります。

**教育長** 本町の戦跡については、近代歴史を語るうえで重要な遺跡であり、観光資源でもあります。平成26年度より調査を実施する予定としておりますので、指定に向けて取り組んで参りたいと考えております。

**議員** **加計呂麻島展示・体験交流館の管理について**

加計呂麻島展示・体験交流館の管理運営については、経験や実績がある信頼性の高い専門業者等へ管理運営を委託すべきと思うが町長の考えを伺います。

**議員** **平成26年度の予算編成について**

平成26年度の新たな施策・事業について伺います。

**町長** 今年度末に予定している瀬戸内町定住促進条例の制定と併せて、定住者に対する新築住宅助成や中古住宅購入助成などを考えております。

また、奄振法延長を前提として、航路・航空路運賃の軽減や農林水産物の輸送コスト負担の軽減等、条件



高知山から加計呂麻島を望む

**町長** 加計呂麻島展示・体験交流館の管理については、開所から数年は行政が運営し、運営が安定した段階で指定管理者制度を導入していく考えであります。



元井直志議員

**議員** **瀬戸内町の防災体制について**

先の台風が伊豆大島に甚大なる災害をもたらしたが、防災体制の不備が指摘されています。本町の防災体制は、どうなっているのか伺います。

**町長** 本町の防災体制については、町災害対策本部設置条例及び町災害対策本部規定に基づき定められております。

役場内においては、いかなる災害でも対応できるように職員・配備体制の強化や役割を分担し、迅速に行動できるように情報

収集体制から災害警戒本部、災害対策本部と状況に応じて庁内の体制整備を図っております。

また、大規模災害時における応援協定を国交省九州地方整備局や建設業協会、九州電力(株)奄美営業所など本町と民間等との間で14件の協定を締結し、防災体制の確立に努めております。

**議員** **福祉事業について**

管轄において活動している共生園の活動、今後の町側の対応について伺います。

**町長** 共生園の活動につきましても、障がい者自立支援法に基づく、「就労継続支援事業所」B型として、一般企業への就職が困難な障がい者に、就労機会を提供するとともに、生産活動を

通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練等を目的として、障がい福祉サービスを供与しています。

主な活動は、ツボ草茶などの農産物の生産・加工や馬の世話、清掃作業、レクリエーションなどを行っており、毎月20人を超える方々が利用しています。

本事業所は、新たな場所の確保に向けて手続き中であり、町としても事業所の集落への説明会等にも出席し、障がい福祉施設の必要性について理解を求めて参りたいと思っております。

**議員** **陳情案件の取扱いはどうなっていますか**

先般、提出された寿老園の拡充陳情案件のその後の状況について伺います。

**町長** 養護老人ホーム拡充の許認可権については、鹿

児島県の権限となっていない。社会福祉法人潤生会は増床申請をし、鹿児島県の許可を受ける必要がありますので、今後、同法人が県へ増床の申請をし、県の方から本町に意見を求めた際には、本町として異議がないため差支えない旨回答をしたいと思っています。



鎌田愛人議員

**議員** アンテナショップ「奄美せとうち町物産館」(鹿児島市内)について

町外の品物が入った要因は。

**農林水産課長** 当初できる

限り町内の特産品を使う方針であったが、地元だけでは店内のスペースを埋めることができない。町内の特産品、加工品が少ないのがわかった、勉強になりました。

**議員・指摘** オープン前に調査した上でオープンすべきだったのでは。

**議員** 品物の6月の売上は、町内130万円、町外35万円。10月の売上は、町内25万円、町外22万円、売上状況を見て、感想は。

**町長** 台風で品物が入らなかった。店舗が広くて町の品物の数が少ない。店主から「町外の品物を入れて良いか」との意見があり、町としては家賃を払うことで、経営としては店主の意見を

聞かなければならない、店主に任せるしかない。

**議員** これまでの投資額は、**農林水産課長** 設備資金、運転資金合わせて1020万円です。

**議員** 27年度以降の方針は。  
**町長** 2年間の限定です。

**議員・意見** 今のアンテナショップは広域化に近い状況、それを「ふるさと納税」、町単独予算で2年間限定。設備投資もしている。

このことを活かすためにも、27年度以降、広域事務組合の中で提案し、議論して、奄美群島が一体となって取り組む事業として「奄美群島アンテナショップ」を考えてもいいのではないかと思います。

**議員** 教育行政について

小・中・高校生の音楽・文化活動の充実のために楽器や太鼓等を運搬する車輛を町で購入し、その活動を支援する考えはないのか伺います。

**教育長** 各種事業において、運搬車輛が必要だという事で、過去に宝くじ助成事業の対象にならないか検討しましたが対象外でした。引き続き、関係課等と連携を図りながら、他に事業がないか検討したいと思います。

**議員** 金管バンド(古小)、吹奏楽部(古中)、ホノホシ太鼓は年間を通じて、いろんな事業・イベントに参加しているが、楽器や太鼓の運搬車輛の手に難儀している。

子ども達の音楽・文化活動に限らず、町の社会教育以外の事業・イベント、災害発生

時の対応にも活用できる。箱車の2t車で約300万円である。「ふるさと応援基金」が平成25年10月末残高が約2600万円ある。

トラックの横に「瀬戸内町ふるさと応援基金号」と文字を入れることで、寄付者も子ども達も喜び、役場職員も助かる、町民もありがたく思う、これ(基金)を使って購入できないか。

**町長** その車が教育・文化になるのか、教育とは、その車を買って、そこに繋がっていいのか、勘案しながら議論すべきでないかと思えます。



第32回大島本島南部議会議員大会に提出した、本町議題「世界自然遺産拠点施設の整備について」の要旨は次のとおりです。

## 世界自然遺産拠点施設の整備について

(要旨)

世界自然遺産登録については、鹿児島県は、知事を先頭に環境省への要望活動を行ない、環境省も平成28年度登録を目指し努力しているところであります。

奄美群島としては、登録に向け、地元住民への理解と意識向上に努めるなど、地元の取り組みが最も重要であります。

世界自然遺産の先例地である屋久島町においては、国営の世界自然遺産センターが設置され、また鹿児島県の「屋久島環境文化村構想」を推進するため、平成5年に県・上屋久町・屋久町（平成14年合併後は屋久島町）の出捐により、公益財団法人屋久島環境文化財団が設立されました。

この財団の主な事業として、環境学習事業、環境形成事業、交流推進事業などを中核施設の「環境文化村センター」、「環境文化研修センター」を中心に事業を展開し、現在、県より6人の職員が派遣され、町より4人、雇用職員11人、アテンダントや嘱託職員など約40人が従事し、屋久島の自然保護と地域振興に努力しております。

奄美群島としましても、登録後の自然保護管理体制の確立や環境対策・環境学習の推進と地域の振興に国、県と地元が一体となり取り組む必要があると考えます。

以上のことなどから、アマミノクロウサギなど希少野生動植物が多く生息し、大島海峡など多種多様の自然環境、観光資源を有する瀬戸内町へ屋久島環境文化財団的な世界自然遺産の拠点施設（鹿児島県主体）及び世界自然遺産センター（国営）の整備を強く要望します。



大会に出席の先生方（右）  
議員研修会にて講演を行う  
NPO法人ASA奄美スポ  
ーツアカデミー園田 明理事  
長（左）



## 編集後記

◆ 人生の節目である卒業・定年退職・入学・就職と新たな旅立ちの時節となりました。  
◆ 奄美群島にとりましても、本年は、奄振法の改正延長・国立公園指定・世界自然遺産登録への取り組み、そして、奄振事業の交付金等極めて重要な年であります。

◆ 私達議会は、この重要課題に鋭意取り組み「持続可能な町づくり」に努めて参る所存であります。

◆ 町民皆様をはじめ出郷者皆様方が益々ご健勝で、すばらしい一年になりますようご祈念申し上げます。（岡田）

議会報編集委員会

委員長 林 健二

副委員長 鎌田 愛人

委員 安 和弘

岡田 弘通

池田 啓一

吉見 洋和